

テーマ：We Love 東桂！

1 目的と経緯

東桂地域は、豊かな自然、歴史、文化、そして地域の人々の温かいつながりに支えられてきた。こうした地域資源を教育に生かし、生徒がふるさとへの誇りと愛着を育みながら成長できる環境をつくるため、令和7年度より総合的な学習の時間を「東桂学習」と命名した。「地域に出る！地域を招く！地域とともにある学校！」を合言葉に、学校・家庭・地域が協働して学びを創る体制づくりを進めている。

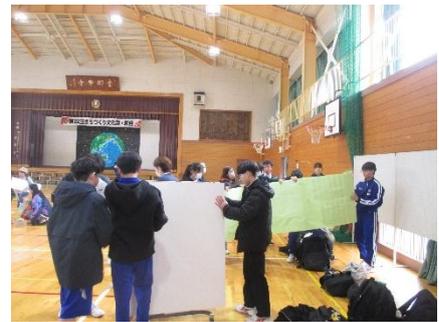
また、令和7年度からはコミュニティ・スクール（東桂小中学校運営協議会）が始動し「保・小・中と地域のつながりで創る東桂教育」の実現を目指している。

2 内容

東桂中学校では、「地域に出る！地域を招く！地域とともにある学校！」の理念のもと、まちづくり文化祭・東桂への参画を軸に、地域と共生する学びを進めている。

(1) まちづくり文化祭・東桂への参画

生徒は文化祭の準備・運営・片付けを担い、地域の方々から実務的なノウハウを学びながら、地域行事を支える役割を果たしている。発表では応援・ソーラン・合唱を披露し、合唱については事前に地域へアナウンスを行い、地域の方々とともに歌う「心をひとつにする瞬間」を創り出した。文化祭を「発表しに行く」だけでなく、「共につくる」立場として参加することで、生徒は地域の一員としての自覚を深めている。



(2) 地域と共生する学校づくり

学校運営協議会の熟議や文化祭の準備会段階から生徒が参画し、地域の大人と協働して企画を進める取り組みを行っている。生徒が社会とかかわりながら学ぶ機会を増やし、学校が地域社会の一部として機能することを目指している。地域の方々との対話や協働を通して、地域の課題や魅力を知り、地域の未来を考える視点を育む学びとなっている。

3 成果と課題

〈成果〉

- (1) 地域の大人と関わる機会が増え、生徒の主体性・協働性・コミュニケーション力が大きく向上した。
- (2) 地域の魅力を再発見し、ふるさとへの愛着や誇りが育まれた。
- (3) 地域行事に参画することで、生徒が「地域の一員」としての自覚を高め、地域からも学校への信頼が深まった。
- (4) 合唱を地域の方と歌うなど学校と地域が心を通わせる新たな文化が生まれた。
- (5) コミュニティ・スクールの始動により、学校と地域の連携がさらに強まり、東桂教育の可能性が広がった。



〈課題〉

- (1) 活動の時間帯との調整が必要で、活動日程の設定に工夫が求められる。
- (2) 活動を継続・発展させるため、学校として地域との連絡体制や企画準備の仕組み、カリキュラム・マネジメントによる社会に開かれた教育課程をより整えていく必要がある。